

産業医学各論Ⅱ

【Occupational HealthⅡ】

担当責任者 教授（公衆衛生学） 松田 晋哉

ねらい

1. 職域における健康管理実践のための基礎的能力を修得する。（健康管理に必要な基礎的事項の修得）
2. 職域におけるメンタルヘルス活動実践のための基礎的能力を修得する。（メンタルヘルスに関する基礎的事項の修得）
3. 職域における安全管理活動実践のための基礎的能力を修得する。（安全管理に必要な基礎的事項の修得）
4. 職域における健康保持増進活動実践のための基礎的能力を修得する。（健康保持増進活動に必要な基礎的事項の修得）
5. 職域における両立支援活動実践のための基礎的能力を修得する。（両立支援に必要な基礎的知識の修得）

学修目標

1. 健康管理に必要な基礎的事項の修得(産業医実務研修センター／産業保健経営学)
 1. 健診の目的と意義について理解する。〈Ⅱ-8, Ⅲ-1〉
 2. 健診プログラムの立案及び評価の方法について理解する。〈Ⅱ-8, Ⅲ-1〉
 3. 健診の判定と事後措置、過重労働対策、復職診断について理解する。〈Ⅱ-8, Ⅲ-1〉
 4. 保健指導の方法論について理解する。〈Ⅱ-8, Ⅲ-1〉
 5. 企業活動における健診の位置づけについて理解する。〈Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-4〉
2. メンタルヘルスに関する基礎的事項の修得(産業精神保健学)
 1. メンタルヘルス活動の目的と意義、概要について理解する。〈Ⅰ-2, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-3, Ⅲ-4〉
 2. 職域におけるメンタルヘルス問題の現状について理解する。〈Ⅰ-2, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-3, Ⅲ-4〉
 3. メンタルヘルス対策の方法論(一次、二次、三次予防)について理解する。〈Ⅰ-2, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-3, Ⅲ-4〉
 4. 産業カウンセリングの意義と方法論について理解する。〈Ⅰ-2, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-3, Ⅲ-4〉
 5. パンデミック下における職場のメンタルヘルス対策の重要性を理解する。〈Ⅰ-2, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-3, Ⅲ-4〉(※)
3. 安全管理に必要な基礎的事項の修得(作業関連疾患予防学)
 1. 安全管理活動の目的と意義について理解する。〈Ⅰ-5, Ⅱ-8, Ⅱ-11, Ⅲ-1, Ⅲ-4〉
 2. 職域における安全問題の現状について理解する。〈Ⅰ-5, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-4〉
 3. 安全科学の理論について理解する。〈Ⅰ-5, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2〉
 4. 労働安全衛生マネジメントシステムについて理解する。〈Ⅰ-5, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-3〉
 5. 職域における安全対策の方法論を理解する。〈Ⅰ-5, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-3〉
4. 健康保持増進活動に必要な基礎的事項の修得(健康開発科学)
 1. 健康保持増進活動の目的と意義について理解する。〈Ⅰ-2, Ⅱ-11〉
 2. 健康の生理学について理解する。〈Ⅱ-1, Ⅱ-3〉
 3. 健康科学の方法論について理解する。〈Ⅰ-5, Ⅱ-11, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-4, Ⅲ-5, Ⅳ-11〉
 4. 職域と地域における喫煙対策について理解する。〈Ⅰ-2, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-4, Ⅲ-5〉
 5. 健康保持増進活動の介入手法と評価方法について理解する。〈Ⅰ-5, Ⅱ-8, Ⅱ-11, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-4, Ⅳ-11〉
5. 両立支援に必要な基礎的知識の修得(両立支援科学)
 1. 両立支援適正配置の目的と意義について理解する。〈Ⅲ-1, Ⅲ-2〉
 2. 両立支援の評価方法について理解する。〈Ⅳ-1〉
 3. 両立支援評価方法について患者に提案を行う。〈Ⅳ-8〉

事前事後学習の方法

1.産業保健経営学

1. 教科書を利用して、産業保健の活動の全体像について理解する(事前学習)。
2. 講義資料を参照しながら講義中にレポートを作成またはレポート発表を求める、資料を基にチェックを行う(事後学習)。

2.両立支援科学

1. 事後措置・適正配置 厚生労働省のHP「治療と仕事の両立支援のガイドライン」の3. 留意事項を事前に読んで講義に当たる(事前学習)。
2. 講義資料を参照しながら講義中にレポートを作成またはレポート発表を求める、資料を基にチェックを行う(事後学習)。

3.作業関連疾患予防学

1. 新聞・ニュース等で報道される最新の労働災害事例について情報を取得し、理解するように心がけること(事前学習)。
2. 講義後に講義内容に関する小テストおよびレポート課題を実施し、労働安全衛生マネジメントシステム、安全理論に対する理解度を総合的に評価する(事後学習)。

4.健康開発科学

健康増進に関する講義

1. 厚生労働省「健康づくりのための身体活動基準2013」及び「健康づくりのための身体活動指針(アクティブガイド)」の内容を確認する(事前学習)。
2. 自分に合わせた最適な運動プランを計画・実施する(事後学習)。

受動喫煙対策に関する講義

1. 厚生労働省「改正健康増進法」「職場における受動喫煙対策のためのガイドライン」の内容を確認する(事前学習)。
2. 自分が利用する施設や飲食店などの喫煙・受動喫煙対策の状況を把握し、改善のための助言ができる(事後学習)。

5.産業精神保健学

1. 受講に先がけ教科書あるいは指定参考書の該当部分を予習する(事前学習)。
2. 授業で配布した資料を再確認し修得した知識の定着を図る(事後学習)。

6.産業医実務研修センター

健康診断・保健指導

1. 教科書を利用して、授業項目に関連する内容を理解する(事前学習)。
2. 講義後の小テストによって学習内容の理解を確認し、間違えた部分を中心によく復習する(事後学習)。

健康教育

1. 自身が産業医になり研修講師を行う際、「研修テーマ」「その対象者の属性」として、現時点で関心を持てるものを1つ以上挙げてください。(事前学習)。
2. 授業時間に学んだことや資料を参考に、自身が「誰かに何かを教える」場合、教育設計の知見に基いた準備をしてください(事後学習)。

成績評価方法・基準

1～6を統合し100点満点換算して、60点以上を合格とする

1.産業保健経営学

1. レポート5割、本試験での筆記試験5割として、100点満点換算とする。

2.両立支援科学

1. レポート5割、本試験での筆記試験5割として、100点満点換算とする。

3.作業関連疾患予防学

1. 小テスト・レポート5割、本試験での筆記試験5割として、100点満点換算とする。

4.健康開発科学

1. 5月31日の小テスト(選択式)とレポートで1割、6月7日の小テスト(選択式)とレポートで1割、本試験での筆記試験8割として、100点満点換算とする。

5.産業精神保健学

1. 産業精神保健学の担当については、最終講義(6.21V)での小テスト(選択式)2割、本試験での筆記試験8割として、100点満点換算とする。

6.産業医実務研修センター

1. 小テスト5割、本試験での筆記試験5割として、100点満点換算とする。

○教科書

国民衛生の動向 最新版(厚生統計協会)

労働衛生のしおり 最新版(中央労働災害防止協会)

○指定参考書

なし

○参考書

要説産業精神保健(診断と治療社)

他は随時紹介する

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.4.5	月	IV	企業活動としての産業保健	B	1	8	森 晃爾 (産業保健経営学)
"	"	V	レポート提出 職域における健康管理(総論)	"	"	"	"
4.12	"	IV	レポート提出 健康危機管理(新興感染症を含む)	"	"	"	永田 智久 (産業保健経営学)
"	"	V	健康診断・保健指導1 小テスト	"	"	"	田口 要人 (産業医実務研修センター)
4.19	"	IV	レポート提出 適正配置・両立支援1	"	"	"	立石 清一郎 (両立支援科学)
"	"	V	適正配置・両立支援2	"	"	"	"
4.26	"	IV	健康教育1 小テスト	"	"	"	柴田 喜幸 (産業医実務研修センター)
"	"	V	健康教育2 小テスト	"	"	"	"
5.10	"	IV	健康診断・保健指導2 小テスト	"	"	"	田口 要人 (産業医実務研修センター)
"	"	V	労働安全衛生マネジメントシステム (小テスト レポート提出)	"	"	"	大神 明 (作業関連疾患予防学)
5.17	"	IV	安全概論 (小テスト レポート提出)	"	"	"	"
"	"	V	労働現場における事故事例研究 (小テスト レポート提出)	"	"	"	"
5.24	"	IV	健康科学総論	"	"	"	大和 浩(健康開発科学)
"	"	V	職域における健康増進の実際	"	"	"	"
5.31	"	III	健康保持増進対策実習1	"	"	"	大和 浩、姜 英 (健康開発科学)
"	"	IV	" 2	"	"	"	"
"	"	V	" 3 (小テスト レポート提出)	"	"	"	"
6.7	"	III	職域・地域における喫煙対策 (小テスト レポート提出)	"	"	"	大和 浩(健康開発科学)
"	"	IV	職場のメンタルヘルス-総論	"	"	"	江口 尚 (産業精神保健学)
"	"	V	職場のメンタルヘルス-対策の実際	"	"	"	"
6.14	"	III	職場のメンタルヘルス-事例研究	"	"	"	"
"	"	IV	職場環境改善の方法(実習)	"	"	"	真船 浩介 (産業精神保健学)
"	"	V	産業カウンセリング	"	"	"	"
6.21	"	III	メンタルヘルスおよびストレスの調査(実習)	"	"	"	日野 亜弥子 (産業精神保健学)
"	"	IV	メンタルヘルス教育	"	"	"	江口 尚 (産業精神保健学)
"	"	V	メンタルヘルス不調者の職場復帰支援・小テスト	"	"	"	"